

サポカレ視聴を促すために工夫していること

グループ視聴

【共通】

視聴計画表を作成している。
(個人別、年次別、職場ごとなど)

個人視聴

グループ視聴のリーダーを置いている

内容に応じたリーダー（感染予防は看護師など）を決め、視聴後に質疑応答に応じてくれるように依頼している

プロジェクターや大きなモニターで投影している

毎月15分視聴＋15分グループ討議、計30分の研修を12～13回開催し、全職員に参加してもらいやすいように工夫している

非常勤職員の勤務時間帯が重なる時を、研修担当者が選び、参加をうながしている



タイムカードの近くに配信予定（サポカレ通信）を掲示している

スタッフ間メーリングリストやミーティングで受講をうながしている

受講証明者が発行されるたびにマメに職員に声をかける。視聴した内容に関する話題を振る

時間内に視聴することが困難な場合、自宅などで視聴し、レポートを提出した職員へ残業代を支給するしくみを作った

年間の視聴予定をつくり、階層別研修時に研修にあったテーマを視聴する

リーダー役のスタッフは視聴するだけでなく、他のスタッフに視聴をうながして、自ら広報役となっている





自分（施設長）の時間が有効に使える

事業所が点在していて職員合同研修が難しいので、同じ内容の研修を各事業所で実施できることは、法人全体の知識の共有に役立つ



施設長の声



職員研修の資料準備の手間が省ける



非常勤職員にも視聴してもらうことで、職場全体の支援のレベルアップに繋がる



自分では職員に言いづらかったことを、動画で解説してもらえる



空いている時間、または自宅で視聴した後に、受講証明書を提出してもらうことで、職員がどの動画を見たのか、また何を学んだのかを把握できる（人事考課にも利用）

